

令和2年度 仙台市宮城野障害者福祉センター防災訓練を実施しました。

令和3年2月25日

仙台市宮城野障害者福祉センター

令和3年2月25日（木）11時、宮城県沖で震度5強の地震が発生したことを想定した防災訓練を行いました。当日は利用者、利用者ご家族、当センター職員を併せ31名が参加しました。

今回の防災訓練では、地震を想定した避難訓練の他に、地震に起因する救助要請並びに救助活動、また普段目にする機会の少ない非常階段を使用しての避難経路を職員間で共有しました。

地震発生後の避難行動は速やかでしたが、地震発生直後は身体保護動作を確実に行うとともに、館内放送を聞き慌てず落ち着いて行動する事、またいかに避難者を落ち着かせて誘導するかなど、避難誘導方法の工夫や検討が必要であると感じました。

今回行った救助要請の通報訓練では、ボイラー室の中に職員が閉じ込められた想定で救助を求める場面を作りました。ボイラー室内は機密性が高く機械音があるため救助を求める声が外には聞こえにくく、ドアを強くたたくなどの行動も必要であるとわかりました。今回職員間で訓練の流れを共有した上で防災訓練を行ったため、救助するまでにあまり時間は要しませんでした。実際に地震が起きて救助が必要になった場合、救助者を速やかに発見し、救助する事は簡単ではありません。有事の際には二次災害の危険性が高いため、速やかに消防や救急へ通報することが大切であると考えます。

今後も場面や時間帯などを変えながら、より実践的で多様性のある訓練を実施していきたいと考えています。

